

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	放射線治療を受ける患者の初診時に抱える気持ちの辛さと看護介入後の変化
研究責任者	看護部 小澤和美
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2021 年 8月末
対象者	2020 年 8 月から 2020 年 10 月までの間に聖隷浜松病院腫瘍放射線科の初診に受診し、看護オリエンテーションを実施した 126 例。
研究の意義・目的	放射線治療を受ける方は様々な気持ちの辛さを抱えています。放射線治療を受ける方の初診前に看護師が苦痛のスクリーニング6項目のなかで、一番多いのが気持ちの辛さを抱える人でした。気持ちの辛さに配慮して看護師が診察に同席し、診察後オリエンテーションを行うことで気持ちの辛さの軽減に効果的な看護介入が実施できているか、気持ちの辛さの寒暖計で数値化することにより評価し、今後の課題を明らかにします。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 治療開始前に苦痛のスクリーニング(不安や気持ちのつらさ)をおこない、診察時に看護師が同席します。初診後の看護オリエンテーション実施後に、苦痛のスクリーニングをもちいて気持ちのつらさに対し、看護介入の前後で寒暖計にて数値の変化を確認します。個人が特定されないように数値で集計します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 外来看護課 (氏名)小澤和美 TEL:053-474-2222(代表) 腫瘍放射線科外来 9:00～17:00 平日